マクワ瓜の育て方

マクワ瓜とはウリ科の1年草で、原産地は諸説ありインドやアフリカ、中国などといわれています。日本には朝鮮より伝わったとされていますが、時期の詳細は不明です。
果実の肉質はメロンに比べて硬く、薄いのが特徴で、古くから食用にされていてメロンに比べて甘みは少ない。地方品種の数が多く、果皮の色や形など変化に富んでいます。

■ 年間カレンダー

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般地	タネまき				■								
	定植					■							
	収穫							■	■				

発芽適温：25～30℃　生育適温：20～30℃
土壌適応性：ph6.0～7.0　輪作年限：2～3年

発芽温度が高いので、低温期のタネまきは加温施設が必要です。
収量を確保するために親づるは本葉4～5枚で摘芯し、子づるを3～4本伸ばす。子づるは葉が10枚程度のところで摘芯し、孫づるを伸ばします。

1 タネまき

ポットにタネまき用の培土を入れ、土を湿られてから2～3粒種をまきます。
定植までには1本に間引きをしてください。

2 畑の準備

植え付けの2週間前位に堆肥と石灰、油粕・化成肥料等を散布し、よく混ぜておきます。

3 管理

100～120cm程度のマルチを張り、本葉が4枚程度で株間70～80cm間隔に定植を行います。
定植後、稲わらなどをマルチの上に敷きます。

親づるは本葉4～5枚で摘芯し、伸びてきた子づる3～4本を四方に伸ばします。
子づるも10枚程度で摘芯し、孫づるを伸ばします。

着果した頃、追肥をしてください。

4 収穫

開花後40日前後で収穫になりますが、果実から甘い香りが出てきて、ヘタから果実が簡単に取れる頃を目安にしてください。

HowTo情報
コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいやくらしに役立つノウハウが満載です。

Copyright©KOMERI Co.,Ltd. All rights reserved.